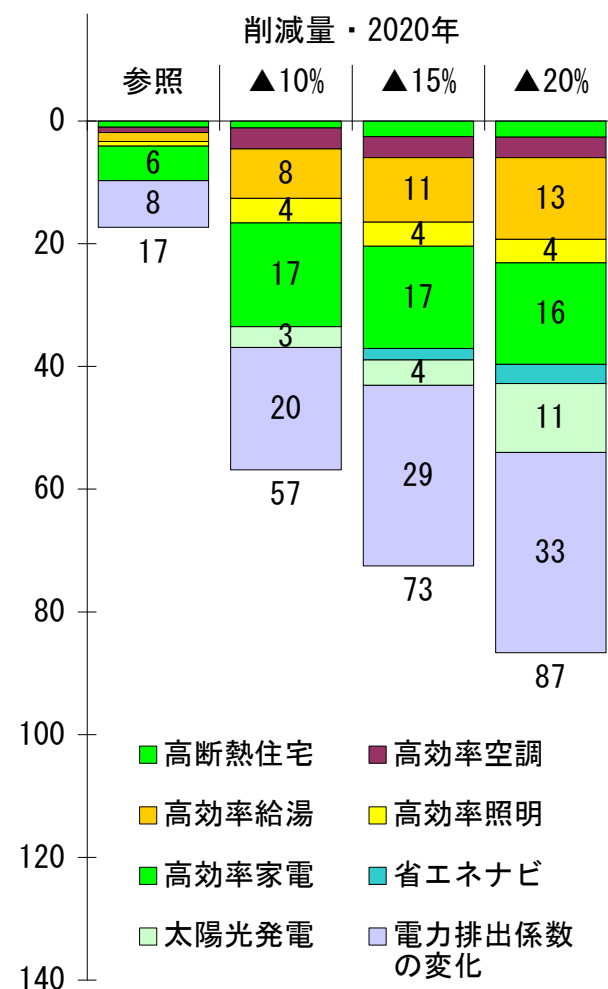


住宅(家庭部門)の中期の対策・施策検討

1. 削減内訳(2020年固定ケース比)

- 高効率家電 16～17Mt-CO₂
 - 機器買い替えてトップランナー購入
- 高効率給湯 11～13Mt-CO₂
 - 機器買い替えてトップランナー購入
 - 太陽熱温水器含む
- 太陽光発電 4～11Mt-CO₂
 - 普及の加速化
- 高効率照明 4Mt-CO₂
 - 機器買い替えてトップランナー購入
- 高効率空調 3Mt-CO₂
 - 機器買い替えてトップランナー購入
- 高断熱住宅 3Mt-CO₂
 - 新築の次世代基準対応
 - 既築での断熱改修実施
- 省エネナビ 2～3Mt-CO₂
 - 見える化による省エネ行動の誘発



2020年のCO₂削減量(MtCO₂)の内訳

2. 新築住宅向けの対策・施策

■ 住宅性能向上策

□ 考え方

- 原則的に誘導的な施策を実施、見える化のルール化を通じた事業者側の取組を推進

□ 誘導的施策

- 住宅版エコポイント、軽減税率

□ 規制的手法

- 住宅性能表示の義務化

- ラベリングによる不動産価値の向上
- 建築基準法による規制、省エネの基準強化

■ パッケージ化による導入推進

□ 考え方

- 新築時に断熱性能の向上と高効率設備をセットで導入するよう誘導

□ 誘導的施策

- 断熱性能と高効率機器(給湯器等)をパッケージ化して導入推進

- CASBEE等による総合性能評価
- 住宅版エコポイント等の支援策をパッケージ化した場合に割増
- 総合的な省エネ性能の評価に基づく基準の設定

■ 新築時の高効率設備の標準化

□ 考え方

- 高効率設備が標準的な仕様となるように事業者側の取組を推進

□ 規制的手法

- トップランナー制度に基づく高効率機器等の標準化

- 一定基準以上の機器のみを販売

- 高効率機器や創エネ機器の導入時に見える化機器の設置を標準化

- エネルギー供給者の設置の標準化

3. 既築住宅改修の対策・施策

■ 住宅性能向上策

- 考え方
 - 原則的に誘導的な施策を実施、性能評価等の診断による改修インセンティブの誘発、リフォームの信頼性評価
- 誘導的施策
 - 住宅版エコポイント、軽減税率
- 規制的手法
 - 住宅性能診断の義務化
 - 診断による実態の把握推進
 - リフォームの評価公表

■ パッケージ化による導入推進

- 考え方
 - 改修時に断熱性能の向上と高効率設備をセットで導入するよう誘導
- 誘導的施策
 - 断熱性能と高効率機器(給湯器等)をパッケージ化して導入推進
 - 既築住宅用簡易評価基準の策定
 - 住宅版エコポイント等の支援策をパッケージ化した場合に割増
 - 総合的な省エネ性能の評価に基づく基準の設定

■ 改修時の高効率設備の標準化

- 考え方
 - 高効率設備が標準的な仕様となるように事業者側の取組を推進
- 規制的手法
 - トップランナー制度に基づく高効率機器等の標準化
 - 一定基準以上の機器のみを販売
 - 高効率機器や創エネ機器の導入時に見える化機器の設置を標準化
 - エネルギー供給者の設置の標準化

4. 集合住宅向けの対策・施策

■ 集合住宅向けの基準等の改善(集合住宅向けの基準等の設置)

- 考え方
 - 集合住宅向けでない規制・基準を集合住宅に適した形で見直
- 規制見直
 - 集合住宅向けの基準の改善(戸建向けの基準とは別に設定)
 - 住宅向け断熱性能(次世代基準)
 - 太陽光発電の補助金支給条件など
 - 電力会社との契約条件もビル基準が準用
 - 専用部、共用部で別々に設定されている規制等
 - 特に共用部の規制の見直し
 - 容積不算入(高効率給湯器など)

■ 改修時の対策・施策

- 考え方
 - 誘導的な施策を中心とし、管理組合の意思決定が容易となるよう支援
- 誘導的施策
 - 大規模修繕計画における省エネ対策を標準化
 - 省エネ診断の受診支援(補助)
 - ガイドライン等による誘導
 - 管理組合意思決定の改善支援
 - 補助金、軽減税率
 - 総合的な性能評価導入
 - 効率的な改修策に対しての優遇策適用
- 規制的手法
 - 性能表示の義務化
 - ラベリングによる不動産価値の向上

5. 賃貸住宅向けの対策・施策

■ 新築時の断熱性能向上

□ 考え方

- 誘導的な施策を主に、見える化（ラベリング）による入居者の選択を促す施策を考慮

□ 誘導的施策

- 補助金、軽減税率

□ 規制的手法

- 賃貸住宅のラベリング制度の導入
- 住宅性能表示の義務化
- 床面積基準の強化によるカバー範囲の拡大

■ 省エネ機器・創エネ機器の導入

□ 考え方

- 誘導的施策を主に考慮、メーカ側への施策と合わせて高効率化を推進

□ 誘導的施策

- 補助金、軽減税率
- パッケージ化による優遇策の割増

□ 規制的手法

- 総合的な性能評価手法の義務化
 - 機器導入も含めた性能の評価
- メーカ側のトップランナー規制
 - 高効率機器の販売義務化
- 太陽光発電等における規制の緩和（集合住宅と同様）

6. 機器メーカー向けの対策・施策

■ トップランナー制度の継続的改善

□ 考え方

- 高効率機器の販売が優位となるような施策を実施

□ 規制的手法

- 販売機器の高効率化(評価指標、手法の見直し)
- 新築・更新時で高効率機器の販売を標準化
 - 高効率給湯器
 - 高効率空調(エアコン)

■ 製品設計上の改善

□ 考え方

- 標準化による見える化との連動や、サイズ、能力、デザイン面で多様なニーズに対応するよう誘導

□ 誘導的施策

- 研究開発支援
 - 改築用の能力の機器の開発
 - 新築時を想定した能力は更新時にはオーバースペック
 - 低コスト化推進

□ 規制的手法

- 標準化(総合接続性など)

7. 住宅分野(家庭部門)の見える化の推進施策

■ 住宅性能の見える化

□ 考え方

- エネルギー消費、CO2排出量の見える化による、効率的な機器利用管理の実施や家庭での行動の改善を誘導

□ 誘導的施策

■ 見える化機器の導入支援

- 補助金等

■ 効率的な使い方の支援

- 地域センター等を活用した省エネ診断支援(診断専門家育成等含む)
- ランキング情報提供(他の家庭との比較)
- 表彰制度

■ 削減によるインセンティブ付与

- 削減分のポイント付与等の経済的インセンティブ付与

□ 規制的手法

■ ラベリング制度

- 住宅性能評価制度

■ 設備・機器単位のラベリング

- 住宅、機器合わせた総合評価

■ 見える化機器の導入の義務化

- 家庭での設置義務
- エネルギー事業者等による設置の標準化

8. 中小工務店向けの対策・施策

■ 中小工務店のボトムアップ

□ 考え方

- 中小工務店が省エネ住宅を建てられるように支援、中期的な規制の方向性を提示して誘導

□ 誘導的施策

- 講習会の開催
- 現地のモデルハウス建設による実地体験
- 施主への経済的支援
 - 中小工務店で省エネ住宅を建てた場合の優遇策の上乗せ

□ 規制的手法

- 住宅性能表示の義務化
- 注文住宅に対するトップランナー規制の適用

9. 総合的普及策

■ 省エネ住宅(断熱住宅)の体験機会の創出

□ 考え方

- 省エネ住宅のベネフィットは体験しないと実感し難いため、体験機会を創出

□ 誘導的施策

- 体験ルームの設置(支援)
- 学校など公共施設の断熱化によるQOL向上の体験機会の創出
 - 学校教育(環境教育)との連動
- 公共施設のエコ化(断熱・創エネ・省エネ)
- 公的な住宅(公営住宅、UR等)での先行導入

■ ブランド化

□ 考え方

- ゼロエミッション住宅、太陽光発電のある家が「あこがれ」の存在とする

□ 誘導的施策

- ラベリング制度、性能表示制度のブランド化

■ 多目的でのパッケージ化による導入促進

- 耐震化、バリアフリー化等とセットで、国の住宅に関する補助時に断熱化を付加